

ムスタン紀行　ローマンタンにて

仲　紀久郎

ムスタンは今世紀初頭西暦二千八年迄ネパール領内の自治王國なりき。首都ローマンタン中心部は城壁取り圍み、王宮有りて先王の子息なる當主現在も住ひ給ふ。

午後一時半、城外に位置するローマンタンホテル到着。當地隨一のホテルなれど、木造二階建、部屋数は廿に滿たず。バストイレは各階に一箇所づつ、二階のバスの給湯設備のみ作動すとの事なり。

先づ水を浴び砂埃を落す。次に洗濯。Tシャツ、下着、靴下、ズボンと總て手洗ひし屋上のロープに乾せり。日射強し。爽やかなり。便所も清潔にて氣持良し。

手に痺れあり。高山病の前兆なりや。印度ゴームクにて經驗せし症狀に相似たり。大事を取りてベッドに横になれり。

翌朝ローマンタン市内の佛教寺院ゴンパ三箇所訪問す。昨年の印度ラダックとは異なり寺院建物内も土足を嫌はず。奇異に感じたり。

先づ佛教學校近くなるゴンパ。佛像の前にて倍音聲明行ふ。その内何故か白き煙の如き物見えたり。雪の如き物も見ゆ。他の人にも見えたるや否や、改めて問はず。

次なるはシャキヤのゴンパ。壁畫修復中にて適切なる場所無ければ倍音聲明行ふ能はず。修復作業行ふ者の中に西洋人あり。

三箇所目は佛教學校内のゴンパ。僧等讀經中なり。其間吾等は瞑想す。讀經終了後倍音聲明行ふ。氣持良し。

教室内を覗く。小學二三年生なりや、英語學習中なり。pet animals　と云ふ問題に答へし　cat　等と書や居れり。

午後は西藏醫學チベットの學校訪問。ローマンタンとは「藥草豊かなる町」の意味にて冬蟲夏草、藥草類等豊富なり。中國人の大量買附ありとの事なり。同室のS氏漢方藥購入す。後程其效能尋ねたる處、「奇蹟起りたるやもしれざる」との答なり。永年苦しみたる下血治まりける様子なり。

(平成二十七年六月二十五日受附)

